

薰風



札幌市立あやめ野中学校

学校だより「薰風」第9号

令和8年1月15日（木）発行



3学期始業式校長講話

「心が伝わるということ」

校長 大高 雅子

3学期のスタートに当たり、3年生の代表生徒からは、受験生として自身の実行性を踏まえた計画を工夫し、反復的な学びやメリハリある学習に取り組む様子が伝わってきました。また、1年生の代表生徒からは、中学生で初めて経験した大きな行事の感動を振り返りながら、3学期を締めくくる学習に向かって詳細に自己分析して取り組もうとする決意が伝わってきました。

今日、こうして皆さんとともに始まりの日を迎えることは、当たり前ではない喜びです。暦の関係で、いつもより長かった年末年始の期間。家族や友人など、いろんなつながりの中で時間を過ごしたのではないかと思います。私も同じように人とのつながりを感じた年末年始でした。

先日12日のことです。この日私は、ウインドアンサンブル部のコンテストの発表を聴きに行き、とてもよい演奏が聴けたことに安堵しながら、駐車場に向かって歩いていました。すると、別なコンクールのためにご両親と一緒に歩いていた本校生徒に、校長先生、と声をかけられました。足元の悪さと寒さもあり、何となく下を向いて歩いていましたから、気づかないで通り過ぎたかもしれない場面です。少しの会話を交わし別れたあと、私は嬉しくなって、その生徒のことを考えながら、そういえばちょうど1年前にも同じようなことがあったことを思い出していました。昨冬のことです。8時過ぎまで仕事をして、一人学校を出た寒い夜でした。真っ暗な道の向こうから、ランニングをしている人影が近づいてきました。私は寒いのでコートのフードを被っていましたが、その人は、すれ違いざまに私に気づき少し戻って、「校長先生！こんなに遅い時間にどうしたんですか」と声をかけてくれたのです。それは3年生の生徒でした。今の高校1年生です。進学後の部活動のために走っているのだなと思いました。知らんふりもできただろうに、敢えて声をかけてくれたこと、しようと思ってしてくれた挨拶、声かけでしたから、特別に親しみや愛情を感じることができました。

こんにちは、ありがとうございます。これらは日常的で、使い慣れているいつもの言葉です。だからこそそれは、心を込めてつかってこそ生きるもの、そう思います。

「それは、とても素敵だね！」生徒の気配りに気づいた小田先生が、こんな言葉をかけている場面がありました。素敵だね、が、素敵だと伝わるのは、小田先生がいつも真面目に、根気強く生徒の声に耳を傾けている時間の長さと無関係ではありません。誰もが使い慣れ、聞きなれている言葉でも、心を吹き込み、意味を与えるのは、人そのものなのです。かたちだけ、その場だけ、テクニックだけで使ったとしても、普段のふるまいや心の中が、言葉と違っていたら、不思議なもので、すぐに相手に伝わってしまうものです。言葉とは、言葉の意味だけではない、ということなのだと思います。

3年生で、これから面接がある生徒のみなさん、そしてここにいる皆さん全員が、人生の岐路に立つ時、自分の思いを相手に伝える場面は少なからずあると思います。その時大切なのは、立派な言葉を並べたシナリオではありません。シナリオを考える時間の中で、自分の中にある、自身の軸とは何かを考え、何を問われても、その軸で考えて言葉にする、これが伝える力というものなのです。

3学期はとても短く、4月から少なからず変化が待っています。通常、1年間の振り返りは1年の終わりに、と考え、3月に入ってから反省しますが、敢えて、3学期のスタートにこそ、この1年間を振り返り、やれそうなことはやる、やれなさそうなことのうち、一部でもやっておくことを整理して、自らやってみる。短い2か月という時間を、意味あるものにしていくことを期待して、私たちの話を終わります。



3学期始業式 代表の生徒のお話

3年代表生徒

私はこの冬休み、時間を無駄にせず有効に利用していくために、自分なりに様々な工夫をして過ごしました。

まず一つ目は、計画を立てることです。12月の学年末の定期テストの頃から、カレンダーに勉強でやることを書く取組を始めました。カレンダーに書くことで、その日のやるべきことがわかり、試験当日までの残りの日にちが可視化されるので、それに向けて継続して努力していくことができます。定期テストでは、この取組で良い結果を残すことができたので、冬休みは入試に向けた計画を立てて勉強をしました。この取組に加えて、受検20日前からは一日単位でさらに細かく具体的に勉強計画を立てています。私は目標に向けて頑張ることが、モチベーションになるので、自分のそういった性格をいかして一日一日の目標をつくり、自分に厳しく頑張りました。

二つ目は、過去問の解き方と解き直し方です。今までの塾のテストでは、解き直しといっても間違えた問題の答えを見ながら納得し、ノートに書いているだけでした。成績が上がっていないのは、それが原因ではないかと思ったので、過去問を解いた後の解き直し方を変えました。例えば英語は、間違えた文法問題の解説を見て、知らない連語表現は暗記用のノートに書き留めたり、長文読解の中でわからない表現や単語があれば、それを詳しく調べたり、ノートに書いたりして、間違えた部分を自分のものにして、今後同じ間違いをしないように解き直しました。また、過去問を解くときには本番通り50分間でやるのではなく、本番で時間の余裕をもてる様に45分間や40分間に設定して取り組みました。このようにしていくことで、毎年の過去問を解いていく度に点数を伸ばしていくことができました。

私はこの冬休み、自分の力で勉強を工夫して継続させる力を得られたと思います。受検までの残り少ない時間を有効に使い、これまでに得た力を最大限に発揮できる万全の状態で挑みたいです。3学期も計画性を大切にして勉強に励み、高校の予習をしつつ、今ある知識をより深めて自分をさらに高めていきたいです。

1年代表生徒

僕の二学期印象に残ったことは、あやめ野祭です。合唱ではみんなで協力して練習に取り組み、本番で練習の成果を発揮することができ、クラスの団結力が高まったと感じました。また、クイズやbingoなどの生徒会企画、色々な人の作品を見た教科展が印象に残りました。クイズをみんなと協力して解き、AyaTubeをみんなと楽しんで観ることができました。教科展では、いいなと思った人の作品を参考にして、自分の作品に取り入れることを頑張りました。

三学期頑張りたいことは勉強です。三学期には定期テストがあるので、特に力を入れ頑張りたいと思っています。苦手科目と得意科目の差があり、数学で途中式を間違えるなどもったいないことがあったので、見直しもしっかりと行いたいと思います。また、ワークなどを活用して、苦手科目は間違えやすいところを何度も復習をして、得意科目は少し難易度の高い問題に挑戦して、前回よりも良い結果を得られるように頑張りたいと思います。

最近は寒暖差が大きく、乾燥しているので体調管理も気を抜かず行い、三学期をより良く過ごし、二年生への準備をしていきたいと思います。

本校のWebページの二次元コードです。日々の学校の様子を紹介しています。

